

森から人へ 人から森へ

2016年12月3日(土) 開会 14:00 終了 17:30 予定
森づくりフォーラム・森林社会学研究会 連続講座 第6回

会場 文京シビックセンター 4階 区民会議室B
一般：1,000円 会員・学生：500円(先着30名)
平成28年度緑と水の森林ファンド助成事業

講演 テーマ「市民が主体となる森づくりとは？」

柿澤 宏昭 (北海道大学 教授)

2016年12月3日(土)

市民が主体となる森づくりとは？

森の重要性が見直される昨今、森を管理・保全・活用し、時に事業化しながら、森づくりに関わる市民団体や社会的企業の活動が注目を集めています。一方、日本の林業・林政は木材生産増大、大規模加工流通体制の整備による林業の成長産業化に焦点が当てられ、国民参加・市民参加の影が薄れてきています。

こうした状況の中、市民が「主体」となる森づくりとはどういうことなのか？これからの森づくりに関する市民団体の重要性とは？生態系保全を基礎とした森林管理を、多様な人々の協働によって構築することに関心を持ち続け、森林社会学の研究者でもある柿澤宏昭さんにご登壇いただき、お話ししていただきたいと思っております。

【講師】

柿澤 宏昭（北海道大学 森林政策学研究室 教授）



神奈川県横浜市出身。山・自然が好きで北大へ進学。1995~6年にワシントン大学森林資源学部客員研究員。2006年から北海道大学森林政策学研究室教授。北海道水資源保全審議会会長。専門は森林政策学、森林社会学。主な著書に『生物多様性保全と森林政策』『協働による地域づくり・森林づくりみどりの市民参加』など。

【聞き手】

松下 芳樹（NPO 法人森づくりフォーラム理事）

1992年に「どんぐり銀行」活動の創設に係り、香川県の水源地、早明浦ダム上流の高知県大川村で水源の森づくりに参加。第5回「森林と市民を結ぶ全国の集い」実行委員長。

【会場アクセス】 文京シビックセンター 4F 区民会議室 B（左図）

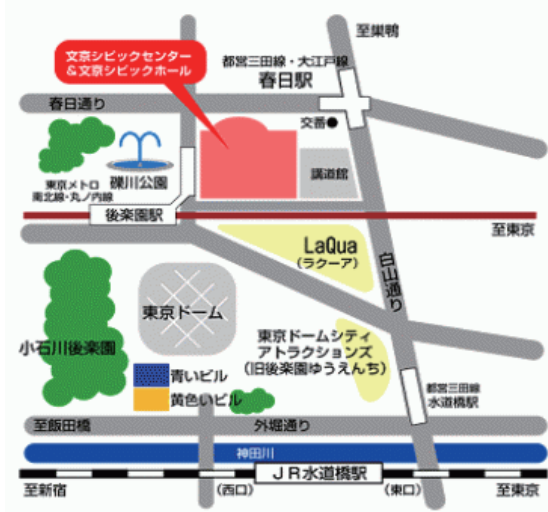
東京メトロ後楽園駅 丸の内線（4a・5番出口）徒歩1分

南北線（5番出口）徒歩1分

都営地下鉄春日駅 三田線（文京シビックセンター連絡口）徒歩1分

大江戸線（文京シビックセンター連絡口）徒歩1分

JR 総武線水道橋駅（東口）徒歩9分



(FAX: 03-3868-9536 森づくりフォーラム宛)

【12/3(土) シンポジウム】 森から人へ、人から森へ ~ 森林社会学研究会 連続講座 第6回 ~

<参加申込書>

ふりがな

TEL

氏名

Eメール

所属

懇親会

参加

・ 不参加

会員（該当するものに○）

個人会員

団体会員

非会員

コメント（あれば）

※上記のことが記されていれば、Eメール（office@moridukuri.jp 宛）でも参加申込みできます。